

豊岡駅通りアーケードが完成

このとり感謝祭や春まつりも同時開催
多彩なイベントでアーケードの完成を祝う



モニュメント除幕式

コウノトリをイメージしたアーケードの新しいモニュメントが大勢の関係者や行き交う人たちが見守る中、除幕された

4月1日・2日の2日間、豊岡駅通商店街のアーケードの完成を祝って記念式典および記念イベントが同商店街で繰り広げられました。

1日の記念式典では、自衛隊音楽隊や地元中学校の吹奏楽部の演奏のもとに完成記念パレードが行われるとともに、コウノトリをあしらったモニュメントの除幕式が行われ、アーケードの完成をきっかけに「サン ストーク アベニュー」として新しく生まれ変わった商店街の誕生を祝いました。

また、当日は、春まつりこのとり感謝祭も同時開催されました。なかでも、このとり感謝祭では、環境に関する取組みを実施している市内の各種団体が、商店街の空き店舗などを利用して、さまざまなイベントを行い、「コウノトリと共に暮らすまちづくり」の重要性を市民に訴えかけていました。



フラッグ (旗)

豊岡駅通りには、「このとりのまち」「サン ストーク アベニュー」と書かれたフラッグが掲出されている



完成記念パレード

伊丹陸上自衛隊第三師団音楽隊や豊岡北中学校吹奏楽部の演奏とともに、関係者が豊岡駅通りをパレードした



市街地活性化座談会

宵田町商店街の「いっぶく堂」では、豊岡総合高校の6人の生徒が、市街地の活性化について意見発表。その後、地元商店経営者などとの座談会も行われた



歩行者天国となった豊岡駅通り

4月2日には、豊岡駅通りが歩行者天国に変身。出店が並んだり、エコカーが展示されたり、さまざまなイベントが行われた



コウノトリの紙芝居

空き店舗を利用して行われた「第1回こうのとり音楽祭」では、保育園の保育士が、保育園児が作った紙芝居「コウノトリのこうちゃん空を飛ぶ」を披露した。園児のけんた君が夢の中で、コウノトリと一緒に空を飛び、仲良くなる話に子どもたちは見入っていた

新アーケードの取組みで 組合員の結束力が強化

昭和46年、我々先輩が初代アーケードの建設に取組み、その時、豊岡駅通商店街振興組合が設立されました。そして、今春、私たちが中心となって、多くの人々の支援をもとに新



豊岡駅通商店街
振興組合理事長

奥田 康裕 さん

アーケードを完成させることができました。本当に熱い思いが込み上げてきます。

平成16年、県にアーケードの計画申請を提出した直後、台風23号災害に遭遇しました。あの惨状を見ると事業を中断せざるを得ないと思いましたが、県知事から復興のシンボル事業として取組むよう激励され、その後押しで、事業を成し遂げることができました。

今回の事業の成果の一つに、組合員の結束が強まったことが挙げられます。今後も、中心市街地を形成する本組合は、豊岡市の商業の活性化に向けてリーダーシップを発揮していきたいと思えます。皆さんも、ぜひ、新しく生まれ変わった豊岡駅通りにお立ち寄りください。

■ 豊岡駅通りアーケード整備

豊岡駅通商店街振興組合が、商店街の活性化を図るため老朽化したアーケードを34年ぶりに改修。新しいアーケードは、コウノトリをイメージした造りで、屋根の一部には太陽光を取り入れるため半透明の樹脂板が使用されている。総延長1.5km。総事業費約6億円。事業費の一部は国・県・市が助成。

■ サン ストック アベニュー

豊岡駅通商店街の新しい愛称。一般公募によって集まった269点の作品から、中央町在住の西尾和仁さんの作品が選ばれた。英語で「太陽」「コウノトリ」「大通り」を意味する新愛称は、「太陽のように輝くコウノトリの大通り」という願いが込められ、太陽光をふんだんに取り入れた明るいイメージの新アーケードにふさわしい愛称となっている。